

2023年1月21日実施

# 東北医科薬科大学〈数学〉

## 分数型の定積分に関する出題

(1)  $\int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx = \frac{\pi}{\text{ア}}$  である。

(2)  $\frac{1}{1+x^3} = \frac{1}{a} \left( \frac{1}{1+x} - \frac{x+b}{x^2+cx+d} \right)$  と部分分数に分解するとき、 $a = \text{イ}$ 、 $b = \text{ウエ}$ 、 $c = \text{オカ}$ 、 $d = \text{キ}$  である。

(3)  $I = \int_0^1 \frac{1}{1+x^3} dx = \frac{1}{\text{ク}} \left( \log \text{ケ} + \frac{\pi}{\sqrt{\text{コ}}}} \right)$  である。ただし、 $\log$  は自然対数とする。

(4)  $J = \int_0^1 \frac{1}{(1+x^3)^2} dx = \frac{1}{\text{サ}} + \frac{\text{シ}}{\text{ス}} \left( \log \text{セ} + \frac{\pi}{\sqrt{\text{ソ}}} \right)$  である。ただし、 $\log$  は自然対数とする。



## 【メビオ 直前授業テキスト】より

試験前日！  
1月20日実施

$p, q$  を実数として、 $g(x) = x^4 + px^2 + q$  とする。方程式  $g(x) = 0$  は  $x = \frac{1}{2} + i$  を解にもつとする。

問1  $g(x)$  は、実数を係数とする  $x$  の多項式

$$h_1(x) = x^2 - \text{1}x + \frac{\text{2}}{\text{3}}$$

で割り切れる。

問2 複素数平面において、 $g(x) = 0$  の解を頂点とする四角形の面積は  $\text{4}$  である。

問3  $g(x)$  を問1の  $h_1(x)$  で割った商  $h_2(x)$  とする。このとき、

$$\frac{4x^2 - 5}{g(x)} = \frac{\text{5}x - \text{6}}{h_1(x)} - \frac{\text{7}x + \text{8}}{h_2(x)}$$

が成り立つ。

問4  $\int_{-\frac{1}{2}}^{\frac{1}{2}} \frac{4x^2 - 5}{g(x)} dx = \text{9} \text{10} \log \text{11}$  である。

問われていること  
解答の流れ  
ともに一致

### コメント

分数式を部分分数分解してから定積分を行う問題。  
素早く恒等式を解き、確実に積分計算を行いたい問題であったが、メビオ生は前日に同じタイプの問題を扱っていたため、迷わずに誘導にのり効率よく時間を使うことができたであろう。

試験前日に  
演習！